



## 能登半島地震その後

2024年1月1日16時10分に、石川県の能登半島でマグニチュード7.6の地震が発生しました。商工会では復旧・復興支援に向け、JBA Houston Foundationより石川県に対し、1万ドルの義援金を寄付しました。本稿では当会の準会員で石川県出身の米元氏(ガルフストリーム編集委員)より、その後の様子をご報告いただくとともに、被災者の皆様には改めまして心よりお見舞い申し上げます。(編集部)



今年元旦に発生した能登半島地震ですが、5月14日石川県発の情報によりますと、死者・行方不明者合わせて263名、重傷者324名、全壊家屋8,221戸、一部破損家屋71,386戸となっています。

今現在、被災者の方々がどうして暮らしておられるのか調べてみました。

県・市町村が開設する、8か所の避難所に2,025名、ホテルなどの2次避難所に1,677名の方々が5か月たった今も暮らしておられます。



また、水道施設の復旧ができておらず、被害の大きかった能登半島先端の輪島・珠洲(すず)両市で2,510戸で断水が続いています。

この大災害発生直後から商工会会員の皆様をはじめ、グレーター・ヒューストン日本人会や日米協会でも義援金の募集を開始し、たくさんの金額をいろいろな経路で被災地に送金しています。上記以外でも様々な個人・グループで多くの方々が募金してくださっていることと思います。

商工会や、日本人会で利用している送金経路は石川県庁自身が開設しています、義援金受付銀行口座に電信送金する形です。他のNPO経由と違い、銀行手数料以外はすべてが被災者援助に使用されます。5月7日現在でこちらに送られた義援金は301億円超と発表されています。(詳細:

### 石川県・災害義援金情報サイト)

また、日本国政府・自治体以外でも個人・企業・グループで被災者を支援されている方々がいるので少し紹介させていただきます。

金沢市でレストランを経営しているシェフ川本紀夫さんは毎週木曜日と日曜日に金沢から車で片道3時間かけて珠洲まで炊き出しに出かけています。前日に準備、翌日は後片付けをするも自分のお店は休業状態。



できるときに時々予約を取って開店するだけのようです。こういうことができるのも周囲からの支援があつてはじめて可能です。

北市博之さんはこの炊き出しに使ってもらうため、自社の山中漆器の食器を3千個提供しています。また、彼は地元山中温泉の住人の皆さんと一緒に、地元のホテルで2次避難している被災者の方々への炊き出しをボランティアとして行っています。



このように、大変な惨事を地域全体で多くの意志ある方々が協力し合ってサポートしています。今私は本当に日本は、そして日本人は美しいと思っています。(被害状況は5月現在です。)

またヒューストンにもお邪魔させていただきます。

### 2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

ヒューストンを含めてテキサスには、まだ15回ほどしかお邪魔したことがありませんが、四季を感じる事が少ないカリフォルニアと違い、季節を楽しめるのは格別だと思います。ただ、いつもテキサスの夏の暑さには圧倒されます。

また、何といても、テキサスBBQは格別です。カリフォルニアでも、テキサスBBQとメニューに出しているところはありますが、全然違いますし、初めて本場で本物を食べた時は本当に感動しました!

ただ、まだ一度も、ヒューストン宇宙センターや自然科学博物館など観光地は行ったことがないので、ぜひ行ってみたいです!

### 3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

一般の女性のようにお洒落を楽しんだり、ショッピングをしたり、という事は苦手です。ただ、食べる事、飲む事は人一倍大好きで、料理も好きです。

私は飛騨高山、という田舎の出身ですが、27歳でそこからアメリカに来てからは、色々な国の料理が食べられたり、様々な食材が手に入るので、渡米以来とても楽しんでます。ただ沢山あるスパイスを上手く使えていないので、使いこなせるようになるのが夢の一つです!



## 会社紹介

### Financial Planning & Education Service

準会員 堤 聖子 さん



#### 1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

Financial Planning & Education Serviceは、カリフォルニアのオレンジカウンティを拠点、ファイナンシャルサービスを提供しています。自身が負債で苦勞をした経験を踏まえ「お金に関する知識を身に付けて頂くチャンスをご提供したい」をモットーに、様々な無料ファイナンシャルセミナーをアメリカ各地で開催しています。

近年は、米国公的年金のアナリストとして、ソーシャルセキュリティを最適かつ最大に受給するアドバイス等を行い、日米にまたがる両国の公的年金受給に関するご相談に応じたり、個別コンサルティングを通じ、生命保険、個人年金プラン等もご紹介、リタイアメントプランのご相談に乗っています。

以前はズームセミナーを開催していましたが、ズームセミナーにご参加された方と、対面セミナーにご参加された方では、セミナー後の意識や行動が、大きく違うという事に気づきました。ですから、情報や知識を「どれだけ沢山の方々に聞いて頂くか」ではなく「どれだけ沢山の方々に応用して役立てて頂けるか」と考え、各地での対面セミナーを実施しています。

マネーリテラシーが意味する「お金の知識や判断力」は決して難しいものではなく、ご自身が意識をするだけで高めることは容易です。セミナーにご参加頂いた後、今持っている金融商品について理解したいと思いましたが、とか、自分の貯蓄、リタイアメントを改めて真剣に考えるようになりました、と言われるのがとても嬉しいです。

今後も対面セミナー開催を中心に続けていきたいと思っていますので、